

内容見本用 目次

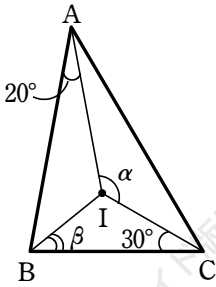
実際の書籍には、これと同内容のものが表紙裏に入ります。

ページ	項目名
1	角の二等分線, 三角形の五心 (1)
2	角の二等分線, 三角形の五心 (2)
3	角の二等分線, 三角形の五心 (3)
4	角の二等分線, 三角形の五心 (4)
5	角の二等分線, 三角形の五心 (5)
6	角の二等分線, 三角形の五心 (6)
7	チェバ, メネラウスの定理 (1)
8	チェバ, メネラウスの定理 (2)
9	チェバ, メネラウスの定理 (3)
10	円周角と円に内接する四角形 (1)
11	円周角と円に内接する四角形 (2)
12	円周角と円に内接する四角形 (3)
13	円と直線, 方べきの定理 (1)
14	円と直線, 方べきの定理 (2)
15	円と直線, 方べきの定理 (3)
16	円と直線, 方べきの定理 (4)
17	円と直線, 方べきの定理 (5)
18	作 図
19	空間図形 (1)
20	空間図形 (2)
21	角の二等分線, 三角形の五心 (1)
22	角の二等分線, 三角形の五心 (2)
23	チェバ, メネラウスの定理
24	円周角と円に内接する四角形
25	円と直線, 方べきの定理 (1)
26	円と直線, 方べきの定理 (2)
27	演習問題 図形の性質 (1)
28	演習問題 図形の性質 (2)
29	演習問題 図形の性質 (3)
30	センター試験過去問 (1)
31	センター試験過去問 (2)
32	センター試験過去問 (3)

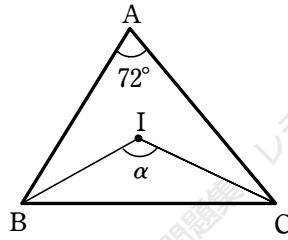
1 角の二等分線, 三角形の五心 (1) 数学A 50

★ 1 下の図において, I は $\triangle ABC$ の内心である。角 α , β を求めよ。(10点×2)

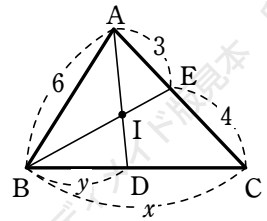
(1)



(2)



★ 2 右の図において, I は $\triangle ABC$ の内心である。x, y の値を求めよ。(10点)



★ 3 $\triangle ABC$ において, $\angle A$ の二等分線と辺 BC の交点を D とする。このとき, 次のものを求めよ。

(10点×2)

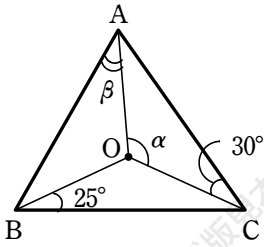
(1) $AB=5, BC=6, CA=7$ のとき, 線分 DC の長さ

(2) $AB=6, CA=8, BD=3$ のとき, 辺 BC の長さ

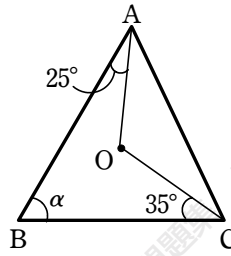
2 角の二等分線, 三角形の五心 (2) 数学A / 50

★ 4 下の図において, O は $\triangle ABC$ の外心である。角 α, β を求めよ。(10点×2)

(1)

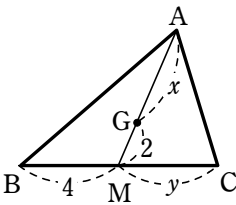


(2)

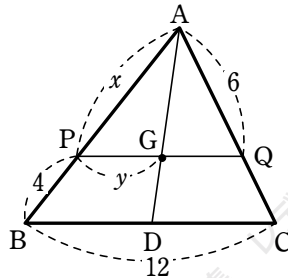


★ 5 下の図において, G は $\triangle ABC$ の重心である。x, y の値を求めよ。ただし, (2) では $PQ \parallel BC$ とする。(10点×2)

(1)



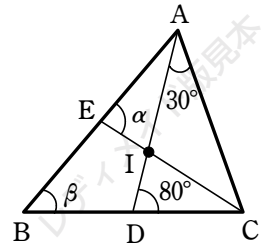
(2)



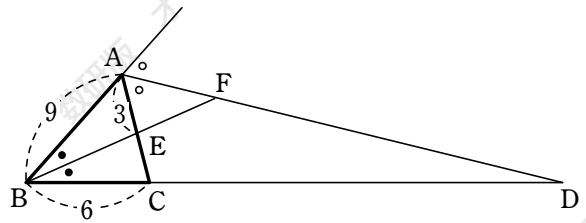
★★ 6 $A=90^\circ$, $AB=4$, $AC=3$ の直角三角形 ABC について外心を O とするとき, O の位置と AO の長さを求めよ。(10点)

3 角の二等分線, 三角形の五心 (3) 数学A 50

★ 7 右の図で, I は $\triangle ABC$ の内心である。角 α, β を求めよ。(10 点)



★ 8 右の図において, D は $\triangle ABC$ の $\angle A$ の外角の二等分線と直線 BC との交点で, E, F は, それぞれ $\angle B$ の二等分線と AC, AD との交点である。線分 EC, CD の長さを求めよ。(20 点)



★★ 9 $AB=10, BC=7, CA=4$ である $\triangle ABC$ の内心を I とする。AI と辺 BC の交点を D とするとき, 次のものを求めよ。(10 点×2)

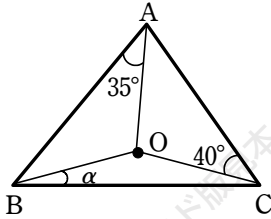
(1) 線分 BD の長さ

(2) $AI : ID$

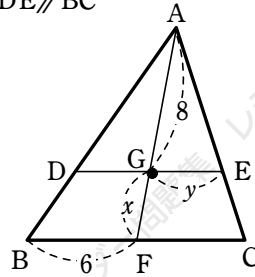
4 角の二等分線, 三角形の五心 (4) 数学 A / 50

★ **10** $\triangle ABC$ の外心を O , 重心を G とする。
 下の図において, 角 α および x, y を求めよ。(10 点 \times 2)

(1)

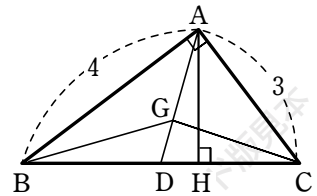


(2) $DE \parallel BC$



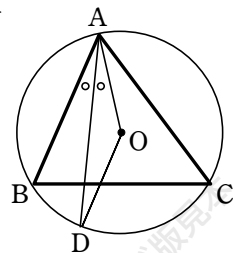
★★ **11** $\angle A = 90^\circ$, $AB = 4$, $AC = 3$ である直角三角形 ABC について,
 その重心を G とするとき, 次の値を求めよ。(10 点 \times 2)

(1) A から BC に下ろした垂線 AH の長さ



(2) $\triangle GBC$ の面積

★★ **12** $\triangle ABC$ の外心を O とする。 $\angle BAO$ の二等分線が外接円と再び交わる点を D とするとき, $AB \parallel OD$ を証明せよ。(10 点)



5 角の二等分線, 三角形の五心 (5) 数学A / 50

★★
13 3辺が $AB=8$, $BC=7$, $CA=6$ の $\triangle ABC$ において, $\angle A$ の二等分線とその外角の二等分線が BC と交わる点を, それぞれ D , E とするとき, 線分 DE の長さを求めよ。(15点)

★★
14 $\triangle ABC$ の辺 BC の中点を D , DC の中点を E とする。 AD , AE が $\angle A$ を 3 等分し, $BC=4$ であるとき, 線分 AE の長さを求めよ。(15点)

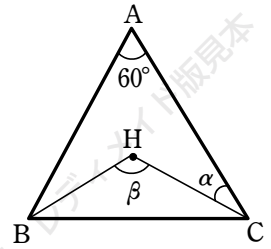
★★
15 $AB=4$, $BC=8$, $CA=6$ である $\triangle ABC$ の内心を I とし, AI と BC の交点を D とするとき, $AI : ID$ を求めよ。(20点)

(月 日)	得 点
数学 A	50

6 角の二等分線, 三角形の五心 (6)

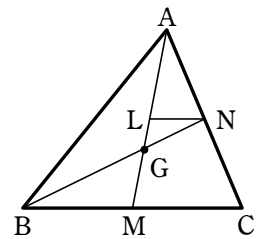
★★
16 右の図において, 点 H は $\triangle ABC$ の垂心である。角 α , β を求めよ。

(20 点)



★★
17 鋭角三角形 ABC の辺 BC , CA , AB の中点をそれぞれ L , M , N とする。 $\triangle ABC$ の外心 O は $\triangle LMN$ についてはどのような点か。(15 点)

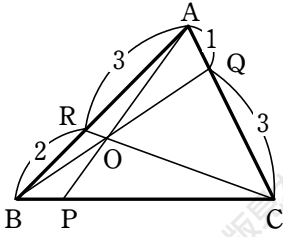
★★
18 右の図において, $\triangle ABC$ の重心を G , $LN \parallel BC$ とする。このとき, $AL : LG$ を求めよ。(15 点)



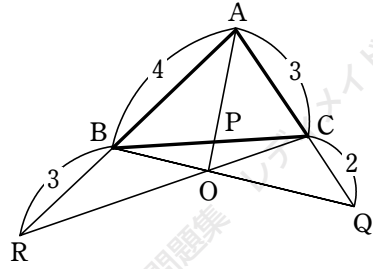
7 チェバ, メネラウスの定理 (1) 数学A / 50

★ 19 下の図において, $BP : PC$ を求めよ。(1) 10 点 (2) 15 点

(1)

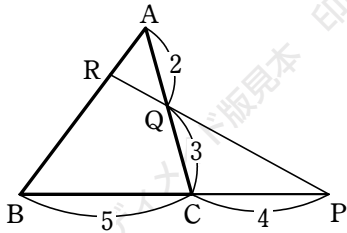


(2)

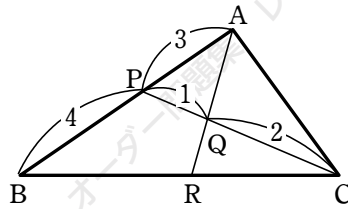


★ 20 下の図において, 次の比を求めよ。(1) 10 点 (2) 15 点

(1) $AR : RB$



(2) $BR : RC$



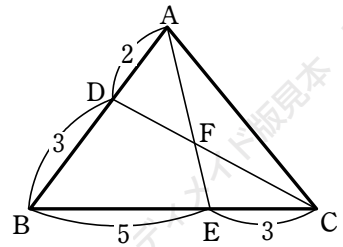
(月 日)	得点
数学A	50

8 チェバ, メネラウスの定理 (2)

- ★★
21 $\triangle ABC$ において, 辺 AB を $4:7$ に内分する点を R , 辺 AC を $8:3$ に内分する点を Q とし, BQ と CR の交点を O とする. AO と BC の交点を P とするとき, $BP:PC$ を求めよ。(20点)

- ★★
22 $\triangle ABC$ の辺 AB を $2:3$ に内分する点を D , 辺 BC を $5:3$ に内分する点を E , AE と CD の交点を F とするとき, 次の比をそれぞれ求めよ。(15点 \times 2)

(1) $AF:FE$



(2) $CF:FD$

(月 日)	得 点
数学A	50

9 チェバ, メネラウスの定理 (3)

数学A

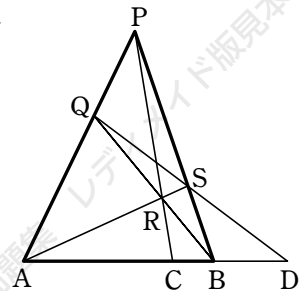
50

★★★
23

面積が1である $\triangle ABC$ において, 辺 BC, CA, AB を $2:1$ に内分する点をそれぞれ L, M, N とし, 線分 AL と BM, BM と CN, CN と AL の交点をそれぞれ P, Q, R とするとき, $\triangle PQR$ の面積を求めよ。(20点)

★★★
24

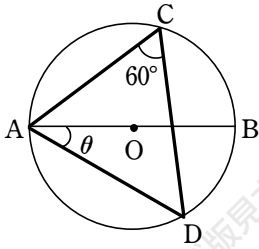
線分 AB とその上にない点 P がある。 P と A, P と B を結び, PA 上に点 Q を, PB 上に点 S をとり, AS と BQ の交点を R とする。直線 PR と AB の交点を C , 直線 QS と AB の延長との交点を D とすると, $AC \cdot DB = AD \cdot CB$ であることを証明せよ。(30点)



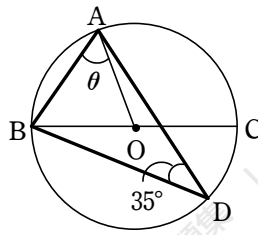
10 円周角と円に内接する四角形 (1) 数学A / 50

★ 25 下の図において、角 θ を求めよ。O は円の中心とする。(10点×2)

(1)

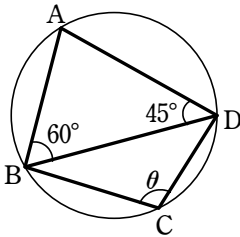


(2)

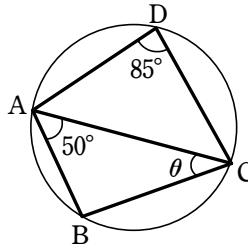


★ 26 下の図において、角 θ を求めよ。(10点×2)

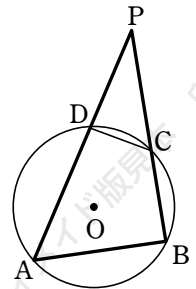
(1)



(2)



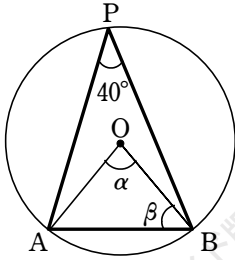
★ 27 右の図のように、四角形 ABCD が円 O に内接しているとき、辺 AD と BC の延長線の交点を P とする。このとき、 $\triangle ABP \sim \triangle CDP$ を示せ。(10点)



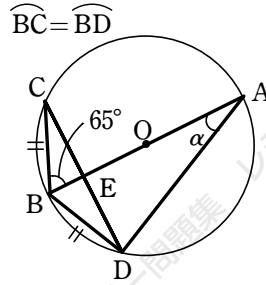
1 1 円周角と円に内接する四角形 (2) 数学A / 50

★ 28 下の図において、角 α , β を求めよ。ただし、O は円の中心とする。(10点×2)

(1)

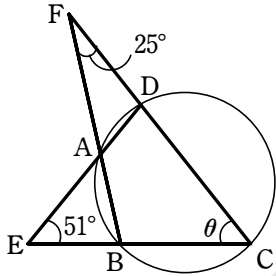


(2)

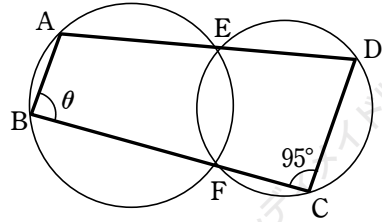


★ 29 下の図において、角 θ を求めよ。(10点×2)

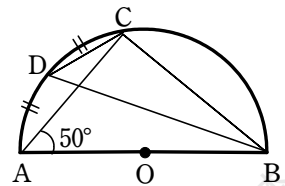
(1)



(2)



★★ 30 右の図のように、AB を直径とする半円 O の円弧上に、
 $\angle CAB = 50^\circ$, $\widehat{CD} = \widehat{DA}$ となる 2 点 C, D をとる。このとき、
 $\angle ACD$ の大きさを求めよ。(10点)

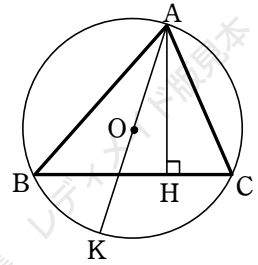


1 2 円周角と円に内接する四角形 (3)

★★

31 $\triangle ABC$ において、A から辺 BC に引いた垂線を AH、A を通る外接円の直径を AK とするとき、 $AB \cdot AC = AH \cdot AK$ であることを証明せよ。

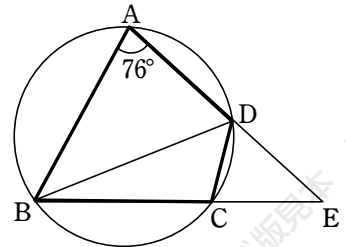
(15 点)



★★

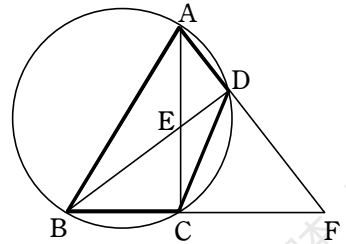
32 右の図において、四角形 ABCD は円に内接し、 $AD = DC$ 、 $AB = AE$ である。 $\angle DAB = 76^\circ$ のとき、次の角の大きさを求めよ。(5 点 \times 4)

- | | |
|------------------|------------------|
| (1) $\angle ABE$ | (2) $\angle DBC$ |
| (3) $\angle DCE$ | (4) $\angle BDC$ |



★★

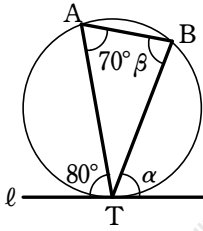
33 半径 1 の円に内接する四角形 ABCD の対角線 AC、BD の交点を E、辺 AD、BC の延長の交点を F とする。4 点 C、D、E、F が同一円周上にあるとき、AB の長さを求めよ。(15 点)



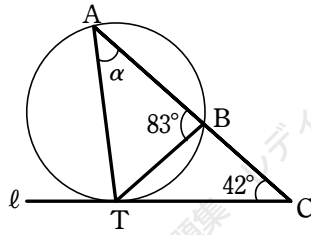
1 3 円と直線, 方べきの定理 (1) 数学 A 50

★ 34 下の図のように, 直線 l が点 T で円に接するとき, 角 α, β を求めよ。(10点×2)

(1)

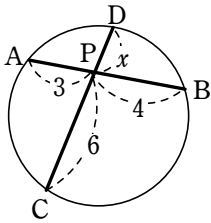


(2)



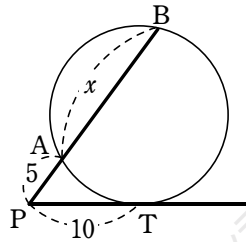
★ 35 下の図において, x の値を求めよ。(10点×2)

(1)

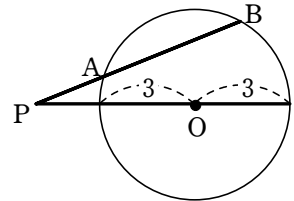


(2)

PT は T における円の接線



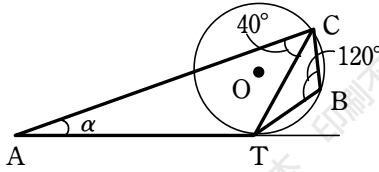
★ 36 半径 3 の円の外部の点 P を通る直線が, 右の図のように円 O と 2 点 A, B で交わるとする。PA・PB=16 のとき, 線分 OP の長さを求めよ。(10点)



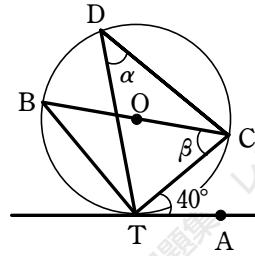
14 円と直線, 方べきの定理 (2) 数学A / 50

★ 37 下の図で AT は円 O の接線で, T は接点であるとき, 角 α , β を求めよ。(10点×2)

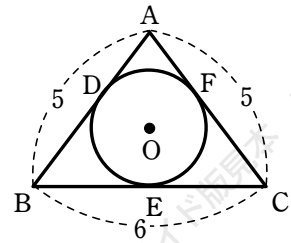
(1)



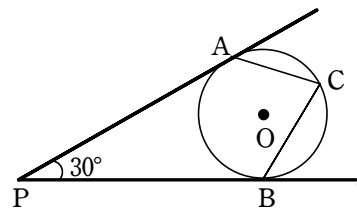
(2)



★★ 38 $AB=AC=5$ の二等辺三角形 ABC があり, $BC=6$ である。
また, 円 O は $\triangle ABC$ の内接円であり, 右の図のように, 点 D, E, F はそれぞれの辺との接点である。このとき, AD の長さを求めよ。(15点)



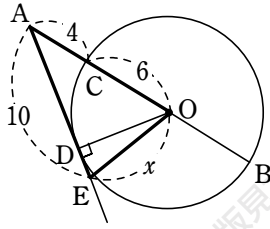
★★ 39 右の図において, 3点 A, B, C は円 O の周上の点である。
また, 2直線 PA, PB は, それぞれ円 O の接線であり,
 $\angle APB=30^\circ$ である。 $\angle ACB$ の大きさを求めよ。(15点)



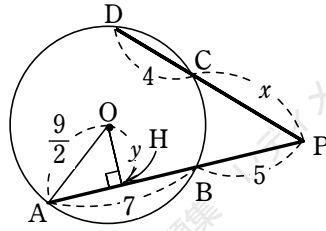
15 円と直線, 方べきの定理 (3) 数学A 50

★★ 40 下の図において, x, y の値を求めよ。(10点×2)

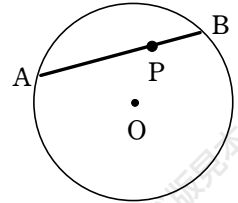
(1)



(2)



★★ 41 半径 2 の円 O の内部の点 P を通る弦 AB について, $PA \cdot PB = 1$ のとき, 線分 OP の長さを求めよ。(15点)



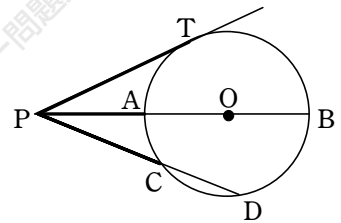
★★ 42 右の図のように, 円 O の外部の点 P からこの円に接線 PT を引き, 直線 PO と円の交点を A, B とする。

また, P を通り円 O と交わる直線を引いて, 円との交点を C, D とする。 $PA = 4, PC = 5, CD = 3$ のとき, 次のものを求めよ。

(1) 5点 (2) 10点

(1) 接線 PT の長さ

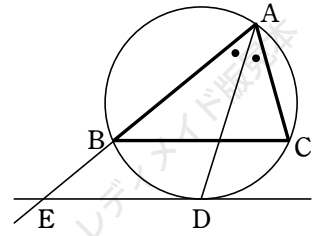
(2) 円 O の半径



(月 日)	得点
数学A	/ 50

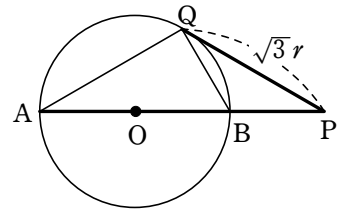
16 円と直線, 方べきの定理 (4)

- ★★
43 円に内接する $\triangle ABC$ がある。 $\angle A$ の二等分線と円との交点を D とする。次に、 D において円に接線を引き、 AB の延長との交点を E とするとき、 $BC \parallel ED$ を示せ。(15点)



- ★★
44 $\angle A = 90^\circ$ である直角三角形があり、 $\triangle ABC$ の内接円 O と辺 BC , CA , AB の接点をそれぞれ P , Q , R とする。 $BP=3$, $PC=10$ であるとき、円 O の半径を求めよ。(15点)

- ★★
45 半径の長さが r の円 O の直径 AB の延長上の1点 P を通るこの円の接線の接点が Q で、線分 PQ の長さが $\sqrt{3}r$ であるとき、線分 AQ , BQ の長さを求めよ。(20点)



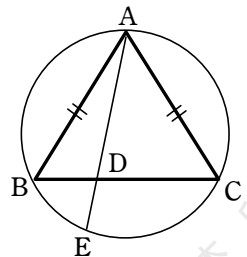
17 円と直線, 方べきの定理 (5)	数学A	50
---------------------	-----	----

★★
46 直径が2である円Oにおいて, 1つの直径ABをBの方に延長して, $BC=2AB$ となる点Cをとる。また, Cから円Oに接線CTを引き, その接点をTとする。線分CT, ATの長さを求めよ。

(10点×2)

★★
47 $AB=5, BC=6, CA=3$ である $\triangle ABC$ において, $\angle A$ の二等分線と辺BCの交点をDとし, 辺BCの中点をEとする。また, $\triangle ADE$ の外接円と辺ABの交点をFとする。このとき, 線分BD, BFの長さをそれぞれ求めよ。(5点, 10点)

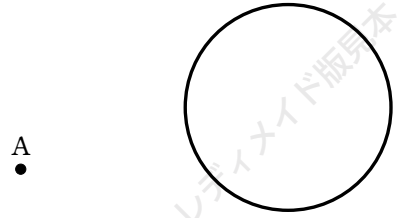
★★
48 $AB=AC$ である二等辺三角形ABCの底辺BC上に点Dをとり, $\triangle ABC$ の外接円の弦ADEを引くとき, $AB^2=AD \cdot AE$ を証明せよ。(15点)



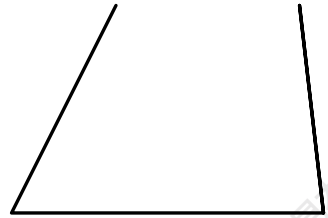
(月 日)	得点
数学A	50

18 作図

★★
49 図のように円と定点 A がある。点 P が円周上を動くとき、線分 AP の長さが最も短くなるような点 P の位置を作図によって求めよ。(15点)



★★
50 右の図のように3つの線分が与えられている。これらの線分すべてに接する円を作図せよ。(15点)



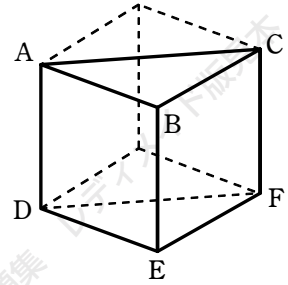
★★
51 右の図の線分 AB を $4:3$ に内分する点を作図せよ。(20点)



19 空間図形 (1)

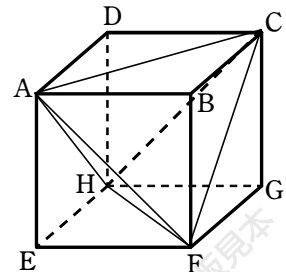
★ 52 右の図は、立方体を半分にした立体である。

- (1) 辺 AB と直交する辺を求めよ。(5点)
- (2) 辺 BC とねじれの位置にある辺を求めよ。(5点)
- (3) 2 直線 BC, DF のなす角 θ を求めよ。ただし、 $0^\circ \leq \theta \leq 90^\circ$ とする。(5点)
- (4) 面 ADEB と垂直な辺を求めよ。(5点)



★ 53 五角柱について、頂点の数、辺の数、面の数をそれぞれ求めよ。
また、(頂点の数) - (辺の数) + (面の数) = 2 が成り立つことを確かめよ。(10点)

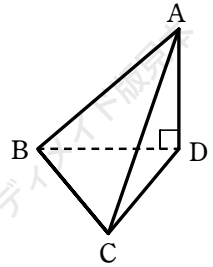
★★ 54 右の図の立方体 ABCD-EFGH において、 $AB=3$ である。
このとき、正四面体 ACFH の体積を求めよ。(20点)



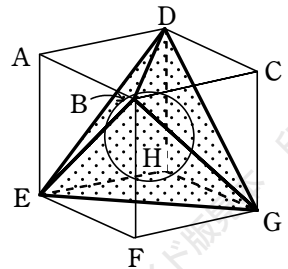
(月 日)	得 点
数学 A	50

20 空間図形 (2)

★★
55 右の図の三角錐 $ABCD$ において、 $AB=AC$ ， $BD=CD$ ， $AD \perp BD$ である。このとき、線分 AD は平面 BCD に垂直であることを証明せよ。(15点)



★★★
56 1 辺の長さが 2 の立方体 $ABCD-EFGH$ を平面 BDE ，平面 BEG ，平面 BGD ，平面 DEG で切ると、正四面体 $BDEG$ ができる。このとき、次のものを求めよ。



(1) 正四面体 $BDEG$ の体積 V (15点)

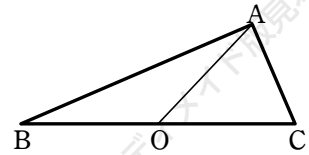
(2) 正四面体 $BDEG$ に内接する球の半径 r (20点)

2 1 角の二等分線, 三角形の五心 (1) 数学A / 50

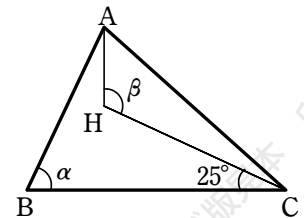
★★ 57 △ABCにおいて, AB=5, BC=4, CA=3 とし, ∠A の二等分線と対辺 BC との交点を P とする。また, 頂点 A における外角の二等分線と対辺 BC の延長との交点を Q とする。このとき, BP, PC, CQ の長さを求めよ。(30 点) [金沢工大]

★★ 58 右の図で, 点 O は三角形 ABC の外心である。∠AOC=46° のとき ∠OAB を求めよ。(10 点)

[関東学院大]



★★ 59 右の図で, H を垂心とすると, 角 α, β を求めよ。(10 点) [奈良大]



2 2 角の二等分線, 三角形の五心 (2)

数学 A

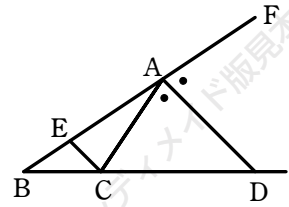
50

★★★

60 右の図において, AD は $\angle CAF$ の二等分線であり, $AD \parallel EC$ である。

- (1) $\triangle AEC$ はどのような三角形か。(15点)
- (2) $AB : AC = DB : DC$ を証明せよ。(10点)

[福井工大]

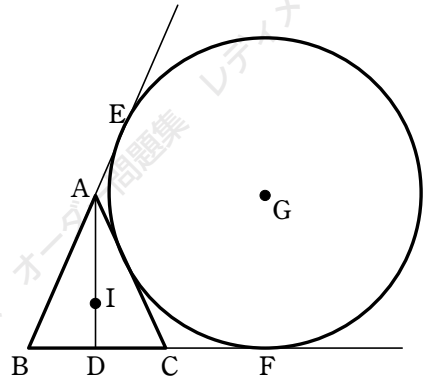


★★★

61 $AB = AC$ である二等辺三角形 ABC の内接円の中心を I とし, 内接円と辺 BC の接点を D とする。辺 BA の延長と点 E で, 辺 BC の延長と点 F で接し, 辺 AC と接する $\angle B$ 内の円の中心を G とする。

- (1) $AD = GF$ となることを証明せよ。(10点)
- (2) $AB = 7, BD = 3$ のとき, IG の長さを求めよ。(15点)

[岐阜聖徳学園大]



23	チェバ, メネラウスの定理	数学A	50
----	---------------	-----	----

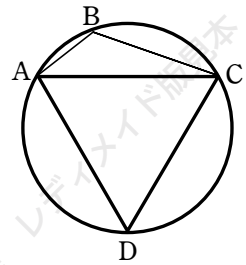
★★★
62 $\triangle ABC$ において, $AB=12$, $\angle A$ の二等分線と辺 BC の交点を D , 辺 AB を $5:4$ に内分する点を E , 辺 AC を $1:6$ に内分する点を F とする。線分 AD , CE , BF が1点で交わる時, 辺 AC の長さを求めよ。(20点) [中京大]

★★★
63 三角形 ABC は $AB=5$, $AC=6$, $BC=7$ を満たすとする。辺 AB 上に点 P をとり, $AP=t$ とおく ($0 < t < 5$)。また, 辺 AC の C の側への延長上に点 Q を, 三角形 ABC の面積と三角形 APQ の面積が等しくなるようにとり, BC と PQ の交点を M とする。 BM の長さおよび AQ の長さを t で表せ。(30点) [学習院大]

24 円周角と円に内接する四角形 数学A / 50

★★★
64

図のように、円周上に4点A, B, C, Dがあり、△ACDが正三角形であるとする。 [成城大]



- (1) ∠ABCの大きさを求めよ。(10点)
- (2) 線分BD上にBP=BCとなる点Pをとると、△BCPは正三角形となることを証明せよ。(15点)

★★★
65

四角形ABCDは∠B=120°, CD=DA=ACを満たしているものとする。 [新潟大]

- (1) AB<BDであることを示せ。(15点)
- (2) 線分BD上にAB=BEとなる点Eをとるとき、∠BAEの大きさを求めよ。(10点)

25 円と直線, 方べきの定理 (1) 数学A 50

★★ 66 AB=6, BC=3, ∠B=90° である直角三角形 ABC の内接円の半径を求めよ。(20点) [金沢工大]

★★★ 67 半径5の円について, 外部の点 P から円に接線を1本引き, その接点を T とする。また, 円の中心を O とし, 点 P から O に直線を引き, その直線と円の交点のうち, 点 P から遠い方を点 A とする。また, ∠OPT の二等分線と線分 AT との交点を B とする。

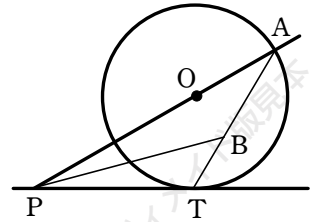
∠OPT=30° として, 次の問いに答えよ。 [関東学院大]

(1) ∠PTB の大きさを求めよ。(10点)

(2) 線分 PT の長さを求めよ。(5点)

(3) 線分 PA の長さを求めよ。(5点)

(4) 線分 BT の長さを求めよ。(10点)



(月 日)	得 点
数学 A	50

26 円と直線, 方べきの定理 (2)

数学 A

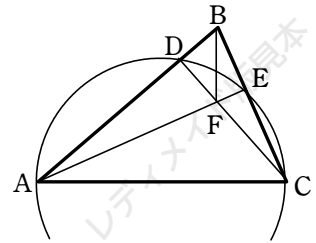
50

★★

- 68 円 O 上に 4 つの点 A, B, C, D がある。弦 AB と弦 CD は点 E で交わり, $AB=10, CD=12, AE=5+\sqrt{5}, CE>ED$ である。このとき, CE の長さを求めよ。(20 点) [佛教大]

★★★

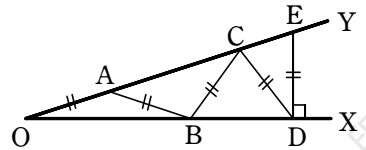
- 69 3 辺の長さが $AB=7, BC=5, CA=3\sqrt{6}$ である三角形 ABC において, 辺 AC を直径とする円が辺 AB, BC と交わる点をそれぞれ D, E とし, CD と AE の交点を F とするとき, 線分 BD, BF の長さを求めよ。(30 点) [中京大]



27 演習問題 図形の性質 (1) 数学A 50

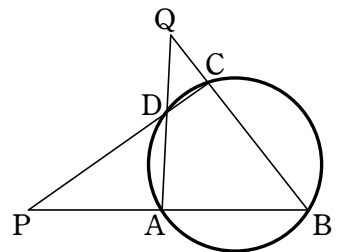
★ 70 △ABCにおいて、BC=5, CA=3, AB=7とする。∠A およびその外角の二等分線が直線 BC と交わる点をそれぞれ D, E とするとき、線分 DE の長さを求めよ。(15点) [埼玉工大]

★ 71 右の図のように、OA = AB = BC = CD = DE, ∠EDX = 90° であるとき、∠XOY の大きさを求めよ。(15点) [共立女子大]



★★ 72 右図のように、四角形 ABCD は円に内接しており、辺 AB と辺 CD の延長との交点を P, 辺 AD と辺 BC の延長との交点を Q とする。∠APD = 32°, ∠CQD = 42° のとき、∠ABC の大きさを求めよ。(20点)

[札幌学院大]



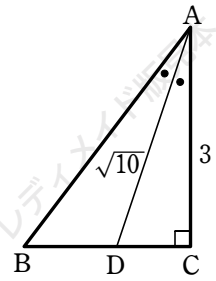
(月 日)	得 点
数学 A	50

28 演習問題 図形の性質 (2)

★★

73 右の図の $\triangle ABC$ において、 $\angle C = 90^\circ$ 、 $AC = 3$ とする。

AD は $\angle BAC$ の二等分線で $AD = \sqrt{10}$ とする。このとき、線分 AB 、 BC の長さを求めよ。(25 点) [福岡工大]



★★

74 四角形 $ABCD$ において、線分 AC と線分 BD の交点を P とし、 $\angle DAC = \angle CBD$ 、 $AC = 8$ 、

$AP = 2$ 、 $PD = 4$ とする。このとき BD の長さを求めよ。(25 点)

[鹿児島大]

29 演習問題 図形の性質 (3) 数学A / 50

★★
75 直角三角形の内接円の半径が3のとき、最短の辺の長さが8であれば、最長の辺の長さはア□であり、残りの辺の長さはイ□である。(20点) [九州産大]

★★
76 四角形 ABCD が辺 AB を直径とする円に内接している。AB=10, BC=6 であり、2つの線分 AC, BD の交点を E とおく。AE : EC = 3 : 1 のとき、 $\frac{BE}{DE} =$ ア□ である。
また、 $\triangle ABE$ の面積は イ□, $\triangle CDE$ の面積は ウ□ である。(30点) [法政大]

30 センター試験過去問 (1)	数学A	/20
------------------	-----	-----

★★
77 △ABCにおいて、AB=3, BC=8, AC=7とする。

- (1) 辺 AC 上に点 D を AD=3 となるようにとり、△ABD の外接円と直線 BC の交点で B と異なるものを E とする。

このとき、 $BC \cdot CE = \boxed{\text{アイ}}$ であるから、 $CE = \frac{\boxed{\text{ウ}}}{\boxed{\text{エ}}}$ である。

直線 AB と直線 DE の交点を F とするとき、 $\frac{BF}{AF} = \frac{\boxed{\text{オカ}}}{\boxed{\text{キ}}}$ であるから、 $AF = \frac{\boxed{\text{クケ}}}{\boxed{\text{コ}}}$ である。

- (2) $\angle ABC = \boxed{\text{サシ}}^\circ$ である。△ABC の内接円の半径は $\frac{\boxed{\text{ス}}\sqrt{\boxed{\text{セ}}}}{\boxed{\text{ソ}}}$ であり、

△ABC の内心を I とすると $BI = \frac{\boxed{\text{タ}}\sqrt{\boxed{\text{チ}}}}{\boxed{\text{ツ}}}$ である。

(得点の配点は答冊子を参照)

[17 センター試験]

3 1 センター試験過去問 (2) 数学A /20

★★★
78 二等辺三角形 ABC において, AB=AC=2, BC=3 とする。

直線 AC 上に, C とは異なる点 D を $\angle ABC = \angle ABD$ を満たすようにとると, $\frac{AD}{BD} = \frac{\text{ア}}{\text{イ}}$ で

ある。△ABD と △BCD において, $\angle ABD = \angle BCD$ で $\angle D$ は共通であるから, $\frac{BD}{CD} = \frac{\text{ウ}}{\text{エ}}$

である。 $\frac{AD}{CD} = \frac{AD}{BD} \cdot \frac{BD}{CD}$ に着目すると, $CD = \frac{\text{オカ}}{\text{キ}}$ である。

△BCD の外接円を O とし, 点 B における円 O の接線と直線 AC との交点を E とすると, 点 E は辺 AC の A の側の延長上にある。このとき $\angle DBE = \frac{\text{ク}}{\text{ケ}} \angle ABE$ であるから, $\frac{DE}{BE} = \frac{\text{コ}}{\text{サ}}$ で

ある。

また, 線分 BE は線分 シ と同じ長さである。 シ に当てはまるものを, 次の①～④のうちから一つ選べ。

- ① AB ② AD ③ AE ④ BC ⑤ CD

したがって, $DE = \frac{\text{スセ}}{\text{ソ}}$ である。

辺 BC の中点を M とし, 線分 EM と線分 BD の交点を F とすると $\frac{FM}{EF} = \frac{\text{タ}}{\text{チツ}}$ である。

(得点の配点は答冊子を参照)

[17 センター試験追試]

3 2 センター試験過去問 (3) 数学A /20

★★★ 79 △ABCにおいて AB=2, AC=1, ∠A=90° とする。

∠A の二等分線と辺 BC との交点を D とすると, $BD = \frac{\boxed{\text{ア}} \sqrt{\boxed{\text{イ}}}}{\boxed{\text{ウ}}}$ である。

点 A を通り点 D で辺 BC に接する円と辺 AB との交点を A と異なるものを E とすると,

$AB \cdot BE = \frac{\boxed{\text{エオ}}}{\boxed{\text{カ}}}$ であるから, $BE = \frac{\boxed{\text{キク}}}{\boxed{\text{ケ}}}$ である。

次の $\boxed{\text{コ}}$ には下の ①~④ から, $\boxed{\text{サ}}$ には ③・④ から当てはまるものを一つずつ選べ。

$\frac{BE}{BD} \boxed{\text{コ}} \frac{AB}{BC}$ であるから, 直線 AC と直線 DE の交点は辺 AC の端点 $\boxed{\text{サ}}$ の側の延長上にある。

① < ② = ③ > ④ A ⑤ C

その交点を F とすると, $\frac{CF}{AF} = \frac{\boxed{\text{シ}}}{\boxed{\text{ス}}}$ であるから, $CF = \frac{\boxed{\text{セ}}}{\boxed{\text{ソ}}}$ である。

したがって, BF の長さが求まり, $\frac{CF}{AC} = \frac{BF}{AB}$ であることがわかる。

次の $\boxed{\text{タ}}$ には下の ①~③ から当てはまるものを一つ選べ。

点 D は △ABF の $\boxed{\text{タ}}$ 。

- ① 外心である ② 内心である ③ 重心である
- ④ 外心, 内心, 重心のいずれでもない

(得点の配点は答冊子を参照)

[18 センター試験]